



ホシキヌタガイ（巻貝類タカラガイ科） *Cypraea vitellus*

大きさ：殻長 3~5cm ほど。

モート、リーフ上の石下の、低潮線に生息する。

岩礁域を中心に多くの種が生息し、タカラガイの仲間は雑食性で、藻類や海綿を食べる。

タカラガイ類は、一般に岩盤のくぼみや石の裏などに卵のうを産みつけ、それを保護する習性がある。保護する間、卵のうの上によって、子がふかするまで餌も食べないでじっと守るといわれている（久保他、1995）。

泡瀬地区の干潟周辺で多く観察できる。